



荒瀬 穂積 議員

Q 工房周辺整備残地対応は。熱意はあるのか

A 町長

交渉は行ったが、移転は難しい。

【Q1】

筆の里工房周辺整備事業で開発区域内に残地があるが。

【A1】

区域外である。

【Q2】

重要な場所だと思うが。

【A2】

平成30年災害の前から用地交渉を続けているが、合意できていない。

【Q3】

町長が地主に頼みに行かれたことはあるか。

【A3】

県の職員として用地交渉を行っていたが、今は行っていない。

【Q4】

熱意がない。ここが一番大事な場所である。町長自らが本当に良い公園を造りたいと熱心に何度も足を運べば解決もできるのでは。

【A4】

様々な交渉をしたが、現時点では難しい。

【Q5】

これだけの大事業である。この場所は大事だと熱意を伝えてみるのが仕事ではないか。

【A5】

その通りだが、買収できず事業ができない訳ではない。代替地も準備して交渉したが、非常に難しい。もう少し頑張ってみる。

Q 役場周辺に病院を含む複合施設を造るのか

A 町長

どこの公営病院も赤字経営である。総合病院を造ると発言した覚えはない。

【Q1】

役場周辺に病院を含む複合施設を造りたいとのこと。

公約なのか立地適正化計画にあるからか私が提言したからか。

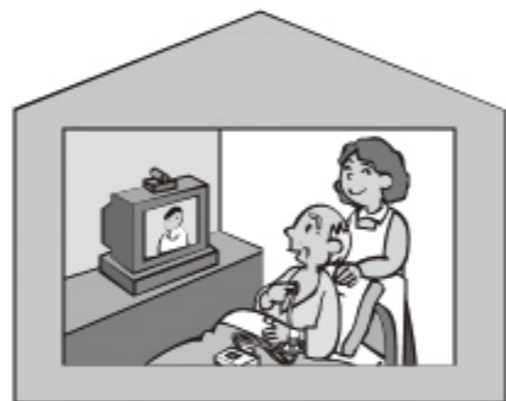
将来ビジョンで市になるのか10～20年後の町の姿が見えない。

交通問題もあり、非常に大事な目玉施設と考える。

【A1】

公営病院の経営はどれも赤字で苦労している。

私は言っていない。発言した覚えもない。



Q 陣痛時の妊産婦へタクシー料金助成を

A 健康福祉部長

出産準備金を給付しているため考えていない。



沖田 ゆかり 議員

【Q1】

町内には出産できる医療機関がないため、妊婦さんは町外の医療機関に入院している。出産するために、どの市町に入院されているのか。

【A1】

令和5年度では海田町が39%、広島市が15.6%、呉市が8.6%、府中町が7.8%、東広島市が4.7%である。



【Q2】

海田町と広島市が多いが、タクシー料金が5,000円～6,000円かかるのではないと思う。出産準備金の5万円を給付しているため、タクシー料金の助成は考えていないとのことだが、内閣府の調査によると出産準備費用の平均は65,662円と言われている。陣痛が始まる頃まで給付金が残っているとは考えにくい。

【A2】

給付金の使い方は人それぞれであるが、マタニティ面談時に給付金の計画的な活用を含め出産する医療機関までの様々な移動手段を確認している。



Q 学校体育館にエアコン設置を

A 町長

県内他市町の動向を注視し、近いうちに整備していきたい。



▲輻射式冷暖房を設置している体育館

【Q1】

熱中症指数計が33を超える場合の体育の授業や部活動の現状と課題は。

【A1】

小学校では他の授業に振り替えたり、プールを体育館に変更している。熱中症指数計が33を超えた段階では部活動はすべて中止している。

【Q2】

過去に比べて運動する機会が減っている。子ども達の体力低下についてどう考えているか。

【A2】

毎年実施している体力・運動能力調査の結果は芳しくない。運動好きな生徒の育成に向けて、体力向上推進委員会を立ち上げて取り組みを進めている。

【Q3】

子ども達の体力向上のため、また災害時に避難所ともなる学校体育館に、CO2削減効果が高く、コスト削減にもつながる輻射式冷暖房（熱を赤外線として放出する「輻射」の原理を利用して、空間の冷暖房を行う空調方式）の設置をしていただきたいが。

【A3】

輻射式冷暖房は風や音の影響が少ないため、競技や避難所になる体育館には適していると考えている。耐用年数も長期間であるため、今後研究していく。